

# 平成30年産 仙南稲作情報（第1号）

平成30年6月4日発行  
宮城県大河原農業改良普及センター  
TEL：0224-53-3431 FAX：0224-53-3138  
※この資料に関する問い合わせは、  
上の連絡先までお願いします。

- 「いもち病」の発生源となるので、**残苗はすぐに処分しましょう！**  
**「残苗」から「いもち病」が見つかっています！！**
- 浅水管理で、初期生育を確保しましょう！

## 1 気象経過（丸森アメダス、5月1日～5月31日）

- ・ 5月の月平均気温は17.1℃で、平年より高く推移しました（平年差+2.0℃）。
- ・ 日照時間は、平年並となりました（平年比100%）。

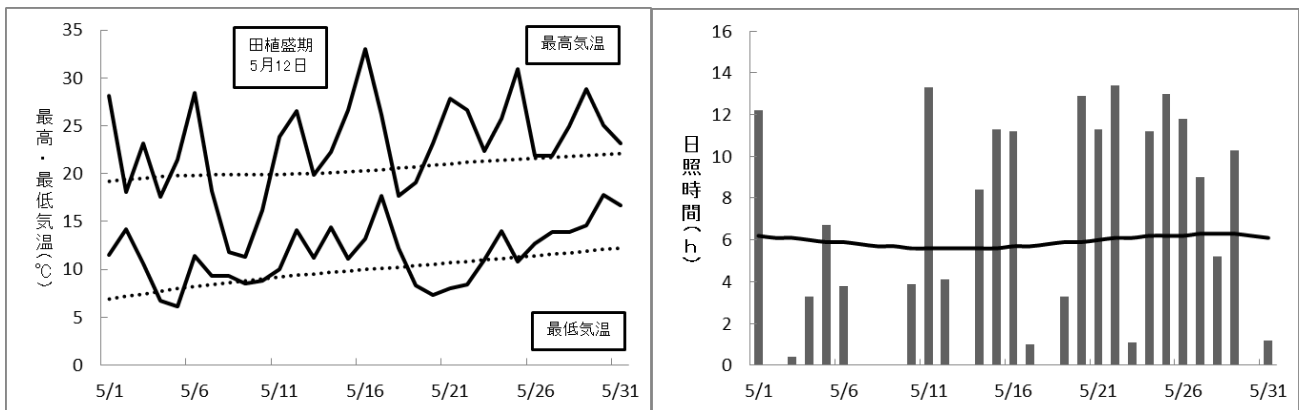


図1 田植期間の気象経過（丸森アメダス、5月1日～5月31日）

## 2 管内の生育状況

### 【管内の田植状況】

- ・ 本年の田植作業は、前年並のペースで進みました。

表1 管内の田植時期

田植始期（5%）	5月 5日	前年より1日遅い
田植盛期（50%）	5月 12日	前年と同じ
田植終期（95%）	5月 23日	前年より1日遅い

### 【6月1日調査結果】

#### （1）主要品種

- ・ 南部平坦の「ひとめぼれ」については、平年と比較し、草丈：平年並み、莖数：やや多め、葉数（生育の早晚）：やや進んでいる状況となっています。
- ・ 西部丘陵「ひとめぼれ」については、草丈：平年並み、莖数：少なめ、葉数：やや進んでいる状況となっています。
- ・ その他の調査ほ場についても、5月の気象が高温傾向で経過したため、苗の活着も良く、生育は順調です。

□ 皆さんのほ場と場所や品種、田植日が近いところのデータを参考にして下さい。

表2 管内の生育調査結果（6月1日）

No	ほ場所在地	地帯区分	品 種	田植月日		草 丈			茎 数			葉 数		
				本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m <sup>2</sup> )	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差
1	角田市野田	南部平坦	ひとめぼれ	5/14	5/8	26.9	93	89	143.8	126	122	7.2	0.9	0.9
2	大河原町金ヶ瀬	南部平坦	ひとめぼれ	5/8	5/7	26.4	106	102	160.1	108	119	6.2	0.8	0.2
3	角田市島田	南部平坦	つや姫※	5/22	5/15	20.0	74	68	86.5	105	94	5.0	▲ 0.5	▲ 0.5
4	白石市小原	西部丘陵	ひとめぼれ※	5/16	5/17	24.1	102	101	47.4	56	82	6.1	0.4	0.7
5	蔵王町宮	西部丘陵	まなむすめ※	5/19	5/8	18.5	64	62	84.1	54	59	4.3	▲ 1.6	▲ 2.0

◆平年値は前5か年(H25～29)の平均値

※白石市小原「ひとめぼれ」(調査2年目)蔵王町「まなむすめ」(調査初年度)のため、「西部丘陵地帯」の平年値との比較

角田市「つや姫」については「播種量」が前年「150g/箱」に対し、今年は「230g/箱」となっている。(密苗に近い播種量)

(次回6/11から山間高冷地の「やまのしずく」の調査も入ります)

## (2) 「だて正夢」(粘りの強い低アミロース米)

表3 「だて正夢」生育調査結果（6月1日）

ほ場所在地	地帯区分	品 種	田植月日		草 丈		茎 数		葉 数	
			本年	前年	(cm)	前年比	(本/m <sup>2</sup> )	前年比	(枚)	前年差
角田市鳩原	南部平坦	だて正夢	5月9日	5月6日	32.4	97.3	153.1	130.6	6.5	0.7

- ・ 前年と比較し、草丈：前年並み、茎数：やや多い、葉数：やや進んでいる状況となっています。
- ・ 茎数がとれにくい品種となっていますが、今のところ、順調に確保されています。

## (3) 直播き栽培(鉄コーティング湛水直播き栽培)

※次回6月11日からの調査となります。

## 3 今後の管理

本田における生育は、順調です。

今後の管理として、水管理や病害虫防除、雑草防除などに気をつけましょう！

### 【水管理】

- ・ 日中の水温が高くなる浅水管理(水深2～3cm)で分けつの発生を促進。

初期生育を促進させましょう。

- ・ 低温の心配があるときは、5～6cmの深水管理としましょう。
- ・ 入水は早朝または夕方に行いましょう。

日中に入水を行うと、水口付近の水温・地温が低下し、生育ムラの原因となりますので、避けるようにしましょう。

- ・ 生わらや未熟堆肥をすき込んだほ場ではガス(硫化水素)が発生し、生育が阻害されることがあります。ガスが出る場合は一時落水して、ガス抜きと土壌への酸素供給を行いましょう。

## 【病虫害防除】(5/22 県病虫害防除所発表)

① 初期害虫(イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ)は、'やや少～少平年'の発生予報です。

＜イネミズゾウムシの発生予報＞

発生時期：'やや早い'の5月第6半旬(5/25～31)。発生量：'やや少'。

＜イネドロオイムシの発生予報＞

発生時期：'やや早い'の6月第1半旬(6/1～5)。発生量：'少'。

＜初期害虫防除のポイント＞

- ・箱施用剤またはペースト肥料混和側条施用した場合は、本田での防除は必要ありません。
- ・しかしながら、圃場により散見されているようです、発生状況をよく観察し、下記の密度を超えたら防除しましょう。

表4 初期害虫に対して防除要否を判断する目安

	防除を必要とする目安
イネミズゾウムシ	畦畔際2m程度の所に、100株当たり成虫が130頭以上(晩期栽培の場合は70頭)
イネドロオイムシ	侵入盛期(6月第1半旬)に、100株当たり成虫が25頭以上、または産卵最盛期(成虫本田侵入盛期の約10日後)に100株当たりの卵塊数が80個以上



イネミズゾウムシ

管内の本田においても、イネミズゾウムシの発生が見られます。

イネミズゾウムシは、畦畔際に発生が多くなりますので、注意して観察して下さい。

葉の表皮を残して、細長い線状の食痕が断続的に見られます。

## ② いもち病

- ・残苗(補植用苗)は本田でのいもち病の発生源となるので早急に処分しましょう。
- ・残苗を処分する際は、いもち病が発病していないか確認し、発病があった場合は本田での発生に注意しましょう。
- ・本田において発生が確認された場合は、茎葉散布剤により直ちに防除しましょう。

### □ 葉いもち予防剤を箱施用していない場合は

発生してからの防除では効果が期待できないので、6月15日～20日頃に予防剤を散布しましょう。田植時期を遅らせた場合でも、この時期に散布します。

●「残苗」から「いもち病」が発見されています！！

●残苗は早急に処分しましょう

## 【 雑草防除 】

- ・斑点米カメムシ類が水田へ飛来するのは、通常稲の出穂期以降ですが、ヒエやイヌホタルイ等の雑草があると、出穂前でもカメムシ類を水田に呼び寄せてしまいます。  
特に、イヌホタルイやシズイはアカスジカスミカメが寄生、産卵することが確認されているので、除草を徹底する必要があります。
- ・今、皆さんのほ場に残っている雑草の種類と葉齢や稲の葉齢を確認し、適切な剤を選んで、適期に処理しましょう。

- 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。
- 農薬使用の際に飛散防止対策を講じること。

### ○平成 30 年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6／1～8／31）

農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農産物を届けるため、農薬の使用に当たっては最新の登録情報を確認し、適正に使用しましょう。

最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ（<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>）で確認できます。